

平成27年(2015年)佐久地方事務所おもなできごと

月	内 容
2月	<p>地域資源を活用した製品の発表会を開催【商工観光課】</p> <p>2月25日に、佐久地域の地域資源に付加価値を付けて“売れる商品づくり”に取り組む企業が開発した製品の発表会を行いました。</p> <p>県産唐辛子を使ったサラミ・ジャーキー、信州サーモンのソフトジャーキー、高原野菜の和風ピクルス、おにかけうどんのギフト用キット、県産材を使った椅子について、事業者が出席して商品のPRやモニタリング調査を行いました。</p> <p>今回の調査結果を踏まえ、商品化に向けて更なる弾みがつきました。</p>
4月	<p>統一地方選で長野県議会が改選【地域政策課】</p> <p>4月3日、統一地方選の前半、長野県議会議員一般選挙がスタートしました。</p> <p>佐久地域では、小諸市及び南佐久郡の2選挙区(それぞれ定数(1))が無投票となったのに対し、佐久市・北佐久郡選挙区(定数(4))では6人が立候補したため、4月12日に投票が行なわれました。</p> <p>この結果、佐久地域の3選挙区で、新人2人を含む6人の県議会議員が新しい任期をスタートしました。</p> <p>なお、統一地方選後半は、佐久地域の6町村において首長や議会の選挙が行なわれました。</p>
5月	<p>県下初!“らせん流水路”が完成【農地整備課】</p> <p>県営農村地域防災減災事業「牛鹿宇山地区」(立科町)の「新池」改修工事で“らせん流水路”が完成しました。</p> <p>“らせん流水路”というのは、普段目にするU字溝のような水路ではなく、内側がひょうたん型をした水路です。</p> <p>水が衝突して溢れる上向きのエネルギーを回転エネルギーのらせん流に変換、スムーズな水の流れを確保して溢水(いっすい)被害を防ぐ水路で、本水路は全国で10例目、県下では初事例となります。</p>
6月	<p>浅間山がごく小規模の噴火【地域政策課】</p> <p>浅間山は、火山性地震の増加により6月11日に噴火警戒レベルが1から2(山頂火口から概ね2km立入禁止)へ引上げられ、6月16日、19日にごく小規模の噴火が発生しました。浅間山の噴火は2009年5月27日以来です。この噴火による被害はありませんでした。</p> <p>佐久地方事務所では管内の現地機関で構成する「浅間山噴火災害警戒対策本部佐久地方部」を設置し、防災対応の確認及び情報共有を図りました。</p> <p>火山性地震や噴煙量は多い状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。</p> <p>現在、賽の河原分岐点より先の登山道は通行禁止となっています。</p>
7月	<p>県営かんがい排水事業「追分地区」が完了【農地整備課】</p> <p>軽井沢町千ヶ滝を水源とする御影用水は、今から360年前に開削され小諸市、御代田町、佐久市の水田223haを潤してきましたが、老朽化による漏水と大雨時の溢水(いっすい)による住宅等の浸水被害が発生していました。</p> <p>そこで、用水の安定供給と減災を図るため、平成20年から「追分地区」で4kmにわたる水路改修工事を実施し、このたび完成しました。</p>



(浅間山頂の噴煙)



月	内 容	
8月	<p>「夏休みエコキッズツアー」を開催【環境課】</p> <p>8月5日に環境保全に興味を持ってもらうことを目的に、小学生を対象とした「夏休みエコキッズツアー」を自然エネルギー佐久地域協議会と共催で開催しました。</p> <p>自然エネルギーについての学習や佐久市の太陽光発電施設、小水力発電施設を見学し、自然エネルギーが身近なものであることを学習してもらいました。</p>	
8月	<p>降雹で過去10年間で最大の農作物被害が発生【農政課】</p> <p>8月1日の午後、南牧村を中心とする管内で降雹があり、出荷直前の高原野菜等に9億2千万円余の甚大な被害が発生しました。技術対策の徹底や生産者団体による販売努力が功を奏し、最終的には4億6千万円余と被害は最小限となりました。</p>	
8月	<p>佐久鉄道開業100周年記念事業「ご長寿列車」出発【商工観光課】</p> <p>今年是小海線全線開通80周年、佐久鉄道開業100周年の記念イヤーである中、100周年の記念日である8月8日に佐久地域の100歳以上の方をお招きし、地域の方々と共に「ご長寿」と100周年をお祝いしました。</p> <p>中込一小諸間で「ご長寿列車」を走らせ、佐久市内から3名の参加者とそのご家族に乗車していただきました。ホームや車内では「佐久地区 賛助会 コカリナ木霊」の演奏など地域の皆さまの温かいおもてなしで笑顔でいっぱいひとときを過ごしていただきました。</p> <p>地域の皆さまと共に歩んできた100年の歴史と併せ、この佐久地域が健康長寿の街であることを改めて発信することができました。</p>	
9月	<p>首都圏で東信州の魅力を発信「東信州を売り込もうin銀座NAGANO」を開催【農政課・商工観光課】</p> <p>佐久・上小地方事務所の農政課と商工観光課が連携し、9月22日に銀座NAGANOにおいて、東信州PRイベントを開催しました。第1部では、長野県(永久)観光大使である峰竜太さんのラジオ番組「峰竜太のミネスタ」の公開生放送でしあわせ信州応援アイドルのオトメ☆コーポレーションが東信州のPRを行いました。第2部「おいしい信州フード(風土)東信州セレクション」では、昼の部として佐久特産のプルーンを使用したスイーツの試食会、上小地域のワインの試飲会を開催。夜の部では、プルーンなど佐久地域の農畜産物、上小地域のチーズを使用したフルコース料理や上小地域のワインを楽しんでいただきました。</p> <p>地方事務所間の連携、また、農政課と商工観光課の連携により、より深く東信州の魅力について知っていただき、誘客と広域・滞在型観光の促進につなげることができました。</p>	
9月	<p>県営畑地帯総合整備事業「小川地区」が完了【農地整備課】</p> <p>川上村小川地籍で平成22年より実施してきた県営畑地帯総合整備事業「小川地区」が6年の歳月を経て完了しました。</p> <p>本地域はレタス、はくさいの生産が盛んな地域ですが、未舗装の農道や、排水不良箇所があったため、野菜が輸送中に傷んだり、大雨で排水路が崩れる被害が発生していました。</p> <p>この事業により農道を舗装し、排水路を整備した結果、効率的な営農と出荷野菜の品質の確保が図られました。</p>	

月	内 容	
10月	<p>「2015環境フェアin佐久」を開催【環境課】</p> <p>10月3日、4日に家畜改良センター長野支場ふれあい広場において、『もっともっとエコするところ、科学するところ』をテーマに、豊かな環境づくり佐久地域会議と共催で環境フェアin佐久を開催しました。</p> <p>自然エネルギー関連設備の紹介や水素で動く燃料電池自動車の展示、また、ソーラーカーの試乗やマイバッグの作成等全24のブースを設け、約6,200人に来場いただきました。</p> <p>また、これに関連して9月に御代田町で「環境フェアin佐久 Jump Out」を実施し、住民の環境に関する理解を深め、レジ袋の削減や自然エネルギーの導入等に関する啓発を行いました。</p>	 
11月	<p>小諸市他4市町村に対するマツタケの出荷制限が解除【林務課】</p> <p>平成24年9月から野生きのこ類の出荷の制限の指示が原子力災害対策本部から出されていましたが、そのうちマツタケに関して、出荷制限の解除に向けた取組みを行ってきた結果、小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、南牧村の5市町村では出荷制限解除の条件が整ったため、平成27年11月20日付けで、マツタケに限り出荷制限が解除されました。</p> <p>なお、5市町村のマツタケを除く野生きのこ類については、引き続き出荷制限と、採種、出荷及び接取の自粛要請は継続されています。</p>	
12月	<p>佐久地域で初めて佐久総合病院にチップボイラが導入【林務課】</p> <p>佐久総合病院に木質チップボイラが導入されました。</p> <p>これは、病院内に温水を供給するための熱源を、化石燃料依存からの脱却と地域産業の活性化のために「木質チップ」ボイラとしました。</p> <p>木質チップボイラの稼働により、森林整備の推進と未利用木材の活用によるカラマツ林業の再生に貢献します。</p>	
12月	<p>「スノーリゾート佐久2015 佐久地域 滑ろう・トゥモロー誘客作戦」を開始【商工観光課】</p> <p>県内外から多くの皆様に佐久地域の9スキー場にお出かけいただくため、12月11日からスキー場と地方事務所が協働でキャンペーンを開始しました。大型スポーツ店にパンフレットを設置し、佐久合同庁舎にPRスペースを設置した他、12月27日にはイオンモール佐久平において、抽選会やブースPRを行う1日限定のイベントを開催します。</p> <p>今年の冬もスノーリゾート佐久を大いに盛り上げていきます。 (期間 平成27年12月11日～平成28年3月18日)</p>	
通年	<p>9市町村が地方創生の総合戦略を策定【地域政策課】</p> <p>人口減少への歯止め、東京圏への過度な人口集中の是正などを目的に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、県や市町村は、平成27年度中に総合戦略を策定することになりました。</p> <p>この動きを踏まえ、佐久地方事務所では地域戦略会議や担当レベルの研究会の開催、小規模町村への個別支援などに取り組んだところ、立科町の策定(11月24日)をもって、佐久地域の市町村総合戦略の策定割合は82%(11市町村のうち9団体が策定)となりました。</p>	
通年	<p>好調な高原野菜の販売【農政課】</p> <p>管内農業産出額の約63%を占める野菜が3年連続で順調な販売となりました。特に本年度は8月に降雹害があったものの、春先から好調な価格を背景に、管内農業者団体では合併以来最高の販売額を記録するなど好調で推移しました。</p>	